



日本地理学会 海外地域研究叢書 3

アメリカ大平原【増補版】 食糧基地の形成と持続性

編著者 矢ヶ崎典隆・斎藤 功
菅野峰明 編著

本体価格 3,500円（税別）

ISBN 4-7722-1581-6

判型 A 5

頁数 240ページ

★アメリカの近代農業はどうか？ 食糧と資源の未来を知りたい人に

[主な内容]

今日、世界の食糧基地となっているアメリカ大平原＝グレートプレーンズ。先住民とバッファローの共存した時代、西部開拓、大規模灌漑農業地帯への変貌、巨大な多国籍アグリビジネスの展開、そして今日的資源問題やBSE問題まで、アメリカ農業発展の過程と今日的課題を描く。

増補版ではBSE問題に関する章（変化し続ける大平原）を新たに設け、最新情報を盛り込んだ。

[主なキーワード]

グレートプレーンズ、フロンティアの開発、センターピボット、灌漑農業、フィーロドット、大規模食肉工場、地下水管理、持続的環境利用、アグリビジネス、オガララ帯水層、BSE問題

分担執筆者：田瀬則雄，仁平尊明，二村太郎，S. ホワイト，平井 誠，D. クロム，D. ネリス，高橋重雄

[主な目次]

第1部： 大平原の自然と原風景

（大平原の原風景，フロンティアの開拓，世界最大の地下水資源）

第2部： 世界の食糧基地

（冬小麦地帯，灌漑農業地帯，新しい畜産複合地域）

第3部： 大平原の都市と人口動態

（大平原の人口動態，大平原の都市と町，移民と経済活動）

第4部： 資源管理と持続的環境利用

（地下水資源の持続的利用，水消費型産業の立地，土地資源評価）

第5部： 大平原のグローバル化

（大平原とアメリカ社会，大平原と日本）

補 章： 変化し続ける大平原